

令和元年度

9名の隊員が活動しました

～安平町地域おこし協力隊活動短信～

イラスト / 石川恵理 (遊びプロ推進員)

地域おこし協力隊とは、意欲ある都市人材を積極的に受け入れ、まちの課題解決に向けた任務に携わっていただき、地域活動や兼業なども行いながら安平町への定住定着を図ることで、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。令和元年度は、9名の隊員が活動を行ってきました。



遠藤 玲奈（農産物直売所推進員）

/ 平成30年12月～

道の駅にある農産物直売所「ベジステ」の運営を担当しています。令和元年度はベジステのオープンに向けた店舗準備やPR、生産者68名の出荷サポート等を行いました。また、道の駅オープン後は「収穫祭テント販売」や「正月のお餅つき」など、来場者増加に向けたイベントを積極的に企画しました。ベジステは当初の想定を大幅に上回る販売実績を上げており、その成果に貢献しています。その他、早来アグリファームでの「農業研修」や毎月開催される生産者協議会役員会への参画など、農直運営に必要な食品表示や衛生管理、消費者・生産者等とのコミュニケーションといったノウハウを身につけてきました。

